

横浜教育イノベーション・アカデミア

共創によるデータ活用で、子どもが主体的に学びきっかけづくりに取り組みます！
～「横浜市教育課程研究協議会」・「横浜教育データサイエンス・ラボ」の合同開催～

横浜市では、次期学習指導要領を見据え、教職員や専門家が連携し、「子ども主体の学び」とそれを支える「質の高い探究的な学び」の実現に向けた教育課程の研究を進めています。このたび、「教育課程研究協議会」と「横浜教育データサイエンス・ラボ」を合同開催し、国の動向を踏まえつつ、教育データの利活用について、三つのテーマで考察を深めます。

開催日時 令和8年1月19日(月)
14:00～16:45

会場 関内ホール (横浜市中区住吉町 4-42-1)

当日の主なスケジュール

14:00 開会 教育委員会挨拶

14:05 【報告①】探究的な学びを支える読書の在り方

登壇者：株式会社ポプラ社 取締役副社長 平瀬 律哉 氏
ポストン・コンサルティング・グループ合同会社
マネージング・ディレクター & パートナー
遠藤 英壽 氏

14:45 【報告②】子どものこころの変化をとらえ、
安心な学びの環境をつくる
「横浜モデル」の開発

登壇者：横浜市立大学
教授 宮崎 智之 氏、助教 石井 美緒 氏

15:30 【提案】算数科、数学科の学力と意欲の関係
～「気付きのチャンス」を生かした学び～

登壇者：慶應義塾大学 教授 山本 直樹 氏
名古屋大学 准教授 光永 悠彦 氏
横浜国立大学 助教 小泉 健輔 氏

16:15 まとめ～横浜市の学校教育への期待～

登壇者：下田 康晴 教育長
株式会社ポプラ社 代表取締役社長 加藤 裕樹 氏
横浜市立大学 教授 宮崎 智之 氏
横浜国立大学 助教 小泉 健輔 氏

16:45 閉会

Data Science - Lab

【報告①】〈読書活動〉×データ
子どもの読書活動と学力や共感性との
関係についての分析結果を報告します。



【報告②】〈横浜モデル〉×データ



横浜モデルによる子どものメンタルヘル
ス支援の取組と今後の取組について、報
告します。

【提案】〈算数科、数学科〉×データ

「学力の伸び」と「学習データ」から
「気付きのチャンス」を生み出す学びに
ついてディスカッションします。



概要は
裏面に記載

◆ 横浜市教育課程研究協議会とは

横浜市立学校の教育課程の充実を図るために、教職員と教育委員会事務局とが協働で研究を行い、その成果や横浜市の教育の方向性を発信するために、8月と1月の年2回実施する協議会
2回の協議会には、延べ1万人以上の教職員が参加

◆ 横浜教育データサイエンス・ラボとは

若手から中堅の教職員、専門的な知見をもつ大学研究者、データの分析・加工の専門的な技術をもつ企業で形成される研究の場

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kosodate-kyoiku/kyoiku/sesaku/school/academialab.html>

←詳細は
こちら

◆ 横浜教育イノベーション・アカデミアとは

本市教職員、大学、企業、教育に関心のある学生等との共創により、横浜の教育の「質」と教職の「魅力」を一体的に高め、発信していくことを目指す教育研究・交流の場

<https://academia.edu.city.yokohama.lg.jp/>

←詳細は
こちら

裏面あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

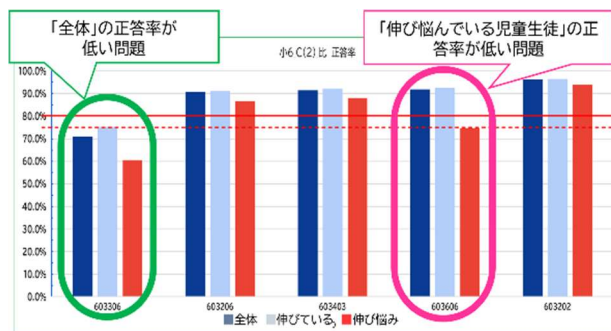


【提案の概要】

提案 〈算数科、数学科〉

「学力の伸び」の可視化と「気づきのチャンス」を生かした学び

横浜市学力・学習状況調査から、算数で約4割、数学で約5割の子どもが伸び悩んでいることが分かりました。そこで、「伸び悩んでいる子ども」に着目し、AIドリルの学習データを分析することで、「難しさ」がある内容を推定し、理解を深める学習動画コンテンツを作成しました。これにより、子ども自身が、AIや動画を使って「分かった！」と思える瞬間を増やすことで、自分で学び方を選んだり、考えを広げたりできるような学びの可能性を提案します。



【報告の概要】

報告① 〈読書活動〉 探究的な学びを支える読書の在り方

国語科の学力向上と学習意識の醸成を目指し、読書活動に関する教育データを分析するプロジェクトを開始しました。この夏、子どもたちの電子書籍サービス利用が可能となったことから、子どもたちの本との出会いの場がさらに広がり、より読書の楽しみや価値を感じることに繋がっています。

電子書籍の利用データをはじめとした多様なデータを統合・分析し、現段階では、「子どもの読書量」と「国語科の学力」や「学習意識」、他を思いやる「共感性」に相関があることが見えてきました。読書が児童生徒の学力や学び方に与える影響を科学的に検証した結果を報告します。

報告② 〈横浜モデル〉

子どものこころの変化をとらえ、安心な学びの環境をつくる

子どもの心の不調の早期把握や、心の状態に合った支援を実施する「横浜モデル」の構築を目指しています。

今年度は、横浜市立大学の医師や心理士と連携し、子ども自身が、セルフケアや他者への相談が出来るように、自分の心の変化に気づく大切さの理解を深める授業を実施しました。この教育を土台として、適切なケアシステムの構築や、探索的にデータの取得・分析を進めており、現状の取組内容について報告します。

【取材について】

取材を希望の場合は、1月16日(金)正午までに別紙の「報道関係者取材申込書」をFAXまたはE-mailでお送りください。なお、取材・撮影等は担当者の指示に従っていただきますようお願いいたします。

お問合せ先

教育委員会事務局学校経営支援課教育イノベーション担当課長 加藤 智敏 Tel 045-671-3723



GREEN x EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

